

消 防 年 報

平成 2 3 年版



赤壁 合元寺

平成 2 4 年刊行

中津市消防本部

はじめに

この消防年報は、中津市消防本部の現勢と平成 23 年中の消防に関する諸般の事項を収録し、今後の消防行政運営上の参考資料に資するために編さんしたものです。

尚、統計については原則として暦年、予算関係については会計年度とし、表中に年月を明示したものについては、その時点での現況としています。

平成 24 年 4 月

中津市消防本部

目 次

1 地勢及び情勢

- ・ 管内の概況
- ・ 消防機関の所在地
- ・ 管内の紹介
- ・ 年齢区分別割合
- ・ 沿革
- ・ 庁舎の現況

2 総務

- ・ 組織・構成
- ・ 事務分掌
- ・ 人事関係（職員年齢構成表、職員勤続年数）
- ・ 職員の配置状況 職員の通勤距離
- ・ 予算関係
- ・ 職員の各種資格免許取得状況

3 予防

- ・ 管内地域別防火対象物の現況
- ・ 消防用設備等点検結果報告書の届出が必要な対象物
- ・ 消防同意件数（計画変更含む）
- ・ 中高層建築物
- ・ 防火管理者選任を要する対象物
- ・ 各種届出事務処理状況
- ・ 住宅用火災警報器設置率の推移

4 危険物

- ・ 危険物製造所等の施設数
- ・ 危険物事務処理状況（許可又は検査の数）

5 消防団

- ・ 方面団別消防団員実員状況
方面団別及び年齢別消防団員数
- ・ 方面団別消防機械の配置状況

6 通信指令室

- ・ 通信指令室概要
- ・ 通信施設 無線局一覧表
- ・ 119番通報受信件数
- ・ 緊急通報システムの受信状況等

7 火災・管理・調査

- ・ 出動区分表
- ・ 年次別火災統計
- ・ 月別火災発生件数
- ・ 地域別の火災発生状況及び被災状況
- ・ 出火原因
- ・ 時間帯別出火件数 曜日別出火件数
- ・ 消防水利の現有状況
- ・ 特殊災害(B・C)活動用資器材

8 救助・指導

- ・ 救助概要
- ・ 月別救助出動件数
- ・ 発生場所別救助活動の状況
- ・ 消防機材等の現有状況
- ・ 車両の配置状況
- ・ 消防用車両等一覧表
- ・ 相互応援協定締結状況
- ・ 調査・指導等活動状況

9 救急

- ・ 救急概要
- ・ 過去10ヵ年救急出動件数の推移状況
地域別救急出動件数
- ・ 救急出動件数
救急搬送人員
- ・ 月別・時間別出動件数状況
- ・ 年齢別搬送人員状況
傷病程度別搬送人員状況
- ・ 曜日別救急出動件数状況
医療機関別搬送人員状況
- ・ 覚知別救急出場件数の状況
- ・ 現場到着までの所要時間
医療機関収容までの所要時間
- ・ 救急隊員の行った応急処置状況

地勢及び情勢



管内の概況

当地域は、大分県の北部に位置し、地勢は阿蘇火山系の外側で起伏の多い耶馬溪等の溪谷地帯と、沖代平野の平坦部に大別される。

河川は、英彦山を起源にした一級河川山国川が地域西側を流れ、周防灘に注いでいる。

交通は、地域の北側平坦部を東西に貫通する J R 日豊本線、国道 10 号線と溪谷部を南北に走る国道 212 号線、又これを軸にした県・市道等の地方道が溪谷地帯や平坦地帯に数多く走っている。

気候は、瀬戸内海性気候に属し、比較的温暖であるが、溪谷・平坦地帯とも台風等の影響を受けやすく、特に溪谷部では土砂災害の危険度も大きい。

平成 23 年の年間平均気温は 19.2℃、年間降水量は 1,507 mm で、特に冬季から春季にかけては空気が乾燥し、季節風が強く、火災予防上危険度が高い。



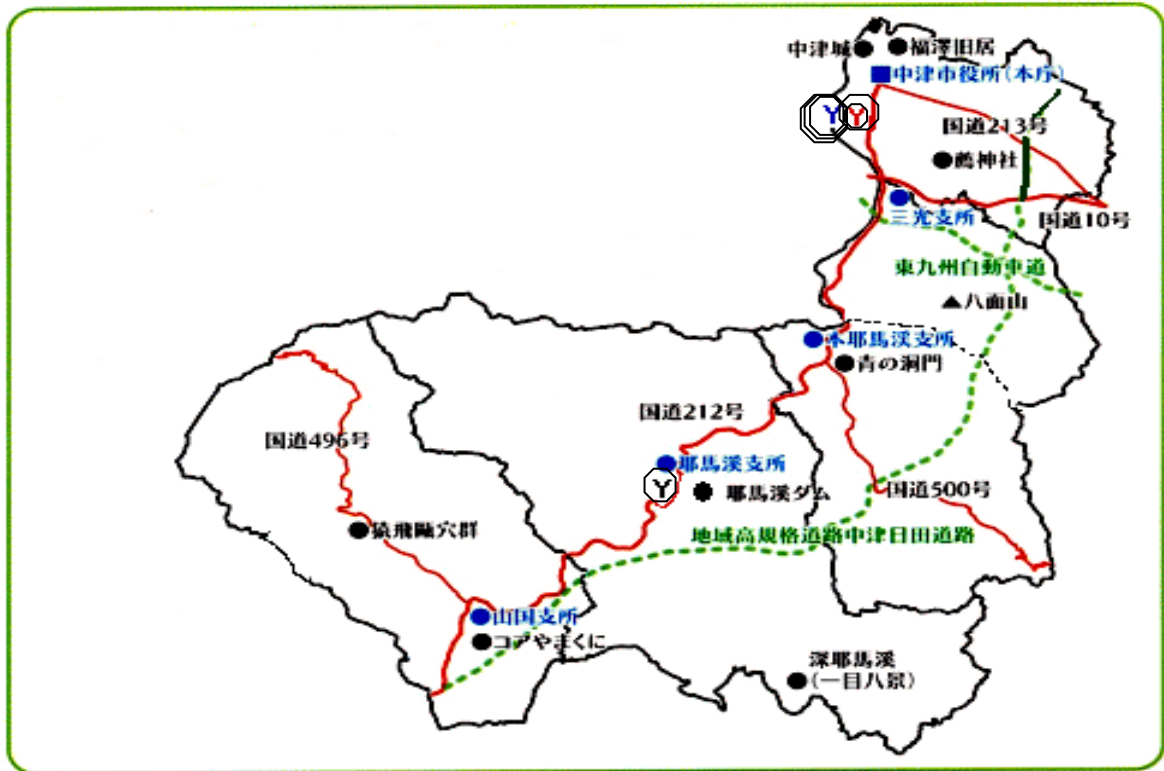
消防機関の所在地










中津市消防本部・署



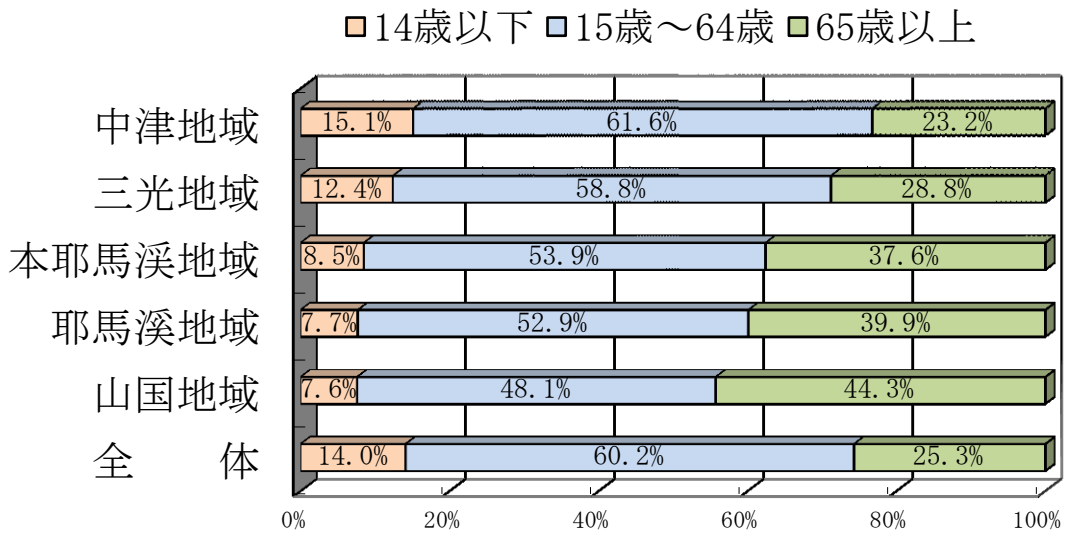
耶馬溪分署



凡 例

- 
消防本部
- 
本署
- 
耶馬溪分署
- 
管轄境界線
- 
主要幹線道路
- 
自動車専用道路(開通区間)
- 
自動車専用道路(未開通区間)

年齢区分別割合



中津市

人口

85,784人

世帯数

37,258戸

面積

491.17 km²



沿 革

昭和12年	4月	中津市夜間常備消防部発足実動 (普通ポンプ車……1台 部員……11人)
昭和18年	4月	中津市常備消防部発足実動 (普通ポンプ車……1台 部員……18人)
昭和27年	4月	中津市消防本部・消防署発足 (普通ポンプ車……2台 職員……18人)
昭和43年	6月	救急業務実動開始
昭和44年	4月	隣接の豊前市・吉富町・新吉富町・大平村と応援協定を締結
昭和48年	7月	隣接の三光村と応援協定を締結
昭和49年	7月	中津市と下毛郡内3町1村との広域消防発足
昭和50年	4月	中津下毛広域消防本部・消防署 耶馬溪出張所全面実動(水槽付消防ポンプ自動車1台、普通ポンプ車1台 救急車1台、広報車1台、職員数20名)
昭和51年	3月	大分県常備消防相互応援協定締結
	7月	中津下毛広域消防本部・消防署新庁舎竣工
	8月	旧庁舎より新庁舎に移転実動開始
昭和52年	11月	本署スノーケル車配備
昭和55年	6月	本署指揮車更新
昭和56年	3月	中津下毛広域消防本部・消防署の敷地取得(5,527.73㎡)
	4月	中津下毛広域消防本部・耶馬溪出張所の敷地取得(999.87㎡)
昭和57年	2月	本署救急1号車日本損害保険協会より寄贈される
昭和58年	3月	出張所広報車更新
昭和59年	2月	本署消防1号車(水槽付消防ポンプ自動車)更新
	8月	中津下毛広域消防本部・消防署の敷地拡張分取得(938.00㎡)
	12月	中津下毛広域消防本部・消防署の敷地拡張分取得(307.00㎡)
昭和60年	11月	出張所消防1号車(水槽付消防ポンプ自動車)更新
	11月	火の用心号日本防火協会より寄贈される
昭和61年	8月	出張所救急車更新
昭和62年	3月	人員搬送車寄贈(国際ソロプチミスト中津)
		消防緊急情報システム設置
		訓練塔新設・竣工
昭和63年	2月	本署救助工作車配備
	2月	桧原山無線中継局開設
	3月	本署救急車日本損害保険協会より寄贈される
	12月	出張所消防2号車(ポンプ車)更新

平成 元年	2月	本署化学車更新
	3月	本署車庫及び屋内訓練場増築
	5月	山国無線中継局開設
	12月	本署消防3号車（ポンプ車）更新
平成 2年	2月	救急車日本消防協会より寄贈される
平成 3年	3月	本署事務連絡車配備
	3月	中津下毛広域消防本部・消防署の敷地取得（515.00㎡）
	12月	本署消防2号車（ポンプ車）更新
平成 4年	4月	中津下毛広域消防本部・耶馬溪出張所の敷地取得（1,455.00㎡）
	8月	本部指揮車更新
	9月	出張所救急車更新
平成 6年	2月	本署梯子車配備（35m）
	2月	耶馬溪出張所車庫増築（264.07㎡）
	8月	出張所広報救急車更新
平成 7年	9月	本部・署機構改革 本部2係、署5係を置く 本署救急車更新
平成 8年	12月	本署消防1号車更新（水槽付消防ポンプ自動車）
平成 9年	3月	本部査察車更新、日本消防協会より寄贈される
平成10年	2月	本署高規格救急車配備
	4月	本署高規格救急車運用開始
平成11年	1月	本署通信指令室増築（175.16㎡）
平成12年	3月	本署新通信指令室運用開始
	11月	出張所消防2号車（ポンプ車）更新、日本損害保険協会より寄贈される
平成13年	1月	本部査察車更新
平成14年	1月	本署人員資器材搬送車配備
	4月	本部・本署・耶馬溪出張所機構改革 本部3係、本署5係、耶馬溪出張所を分署と改称し、3係を置く
	11月	分署高規格救急車配備
平成16年	2月	分署消防1号車更新（水槽付消防ポンプ自動車）
	3月	本署救急車（2B）更新
平成17年	2月	広域市町村圏事務組合解散
	3月	中津市消防本部・消防署発足（市町村合併にともない一部事務体制の変更）
平成18年	3月	本署救助工作車Ⅱ型更新
平成20年	3月	本署高規格救急車更新
	4月	本部・本署機構改革 3課12係を置く
平成21年	8月	本署消防2号車（ポンプ車）更新
平成22年	2月	分署救急車更新（高規格救急車）
	3月	本署指揮車更新
平成23年	2月	本署化学車更新（災害対応特殊化学ポンプ自動車Ⅱ型）
平成24年	2月	本署消防3号車（ポンプ車）更新

庁舎の現況

中津市消防本部・署



所在地	大分県中津市大字上宮永364	T E L	0979-22-0001 (代)
敷地面積	7287.73m ²	職員数	72名
床面積	1942.94m ²	車両台数	15台
建築年月日	昭和51年7月		

耶馬溪分署

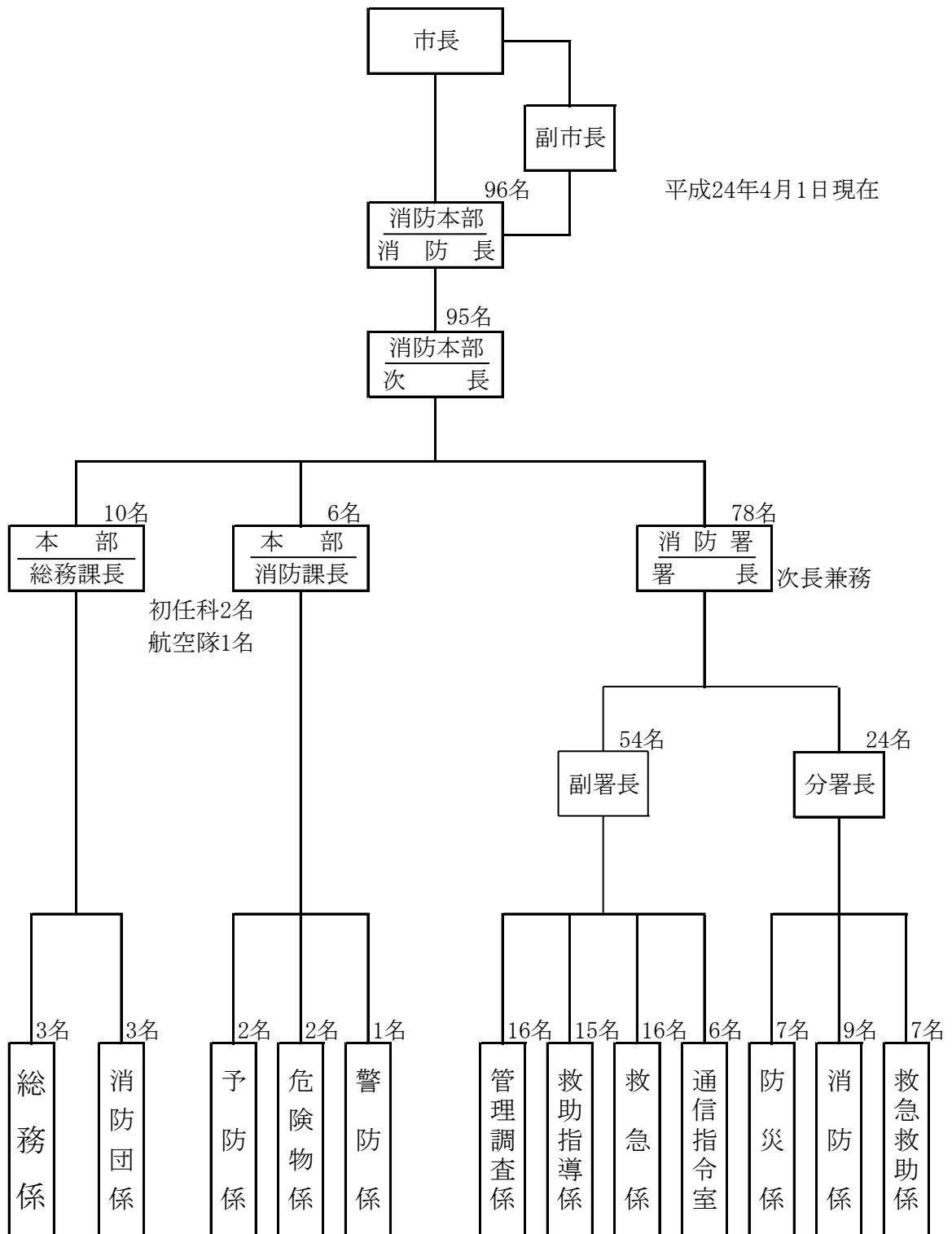


所在地	大分県中津市耶馬溪町大字大島2216-1	T E L	0979-54-2100
敷地面積	2490.75m ²	職員数	25名
床面積	567.12m ²	車両台数	5台
建築年月日	昭和50年3月		

総務



組織・構成



事務分掌

本部・総務課

総務係	<ol style="list-style-type: none">1 文書の收受、編さん保存及び公印の管守に関すること。2 規則等の制定及び改廃に関すること。3 消防吏員の階級、服務及び規律等人事に関すること。4 消防吏員の賞じゅつ金に関すること。5 常備消防予算の執行及び会計事務に関すること。6 消防職員の給与等に関すること。7 消防職員の衛生管理に関すること。8 消防吏員の給与品及び貸与品に関すること。9 出張等に関すること。10 消防庁舎及び備品の管理に関すること。11 消防表彰に関すること。12 消防職員委員会に関すること。13 消防の総合的企画及び調整に関すること。14 本部に属する公文書の公開並びに個人情報の開示、訂正及び利用停止等に関すること。15 他の主管に属さないこと。
消防団係	<ol style="list-style-type: none">1 非常備消防予算の執行及び会計事務に関すること。2 非常備消防施設及び装備に関すること。3 消防団員の任免及び懲罰に関すること。4 消防団員の福利厚生に関すること。5 消防団員の公務災害補償に関すること。6 消防団員の退職報償金に関すること。7 大分県消防協会中津支部に関すること。8 消防水利に関すること。9 その他消防団に関すること。

本部・消防課

<p>予防係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 予防査察に関する事。 2 防火管理に関する事。 3 建築等の消防同意に関する事。 4 消防用設備等の指導及び検査に関する事。 5 防火対象物定期点検報告制度に関する事。 6 中津市火災予防条例に関する事（危険物及び警防に関するものを除く。）。 7 その他火災予防に関する事。
<p>危険物係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 予防査察に関する事。 2 危険物の規制に関する事。 3 液化石油ガス等の届出に関する事。 4 少量危険物、指定可燃物に関する事。 5 中津市危険物安全協会に関する事。 6 中津市火災予防条例に関する事（危険物に関するものに限る。）。 7 火薬類の消費等の許可に関する事。 8 ガス用品の適合表示に関する事。 9 その他危険物に関する事。
<p>警防係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防計画に関する事。 2 消防年報の編さんに関する事。 3 防火思想の普及、広報に関する事。 4 消防通信の企画に関する事。 5 中津市火災予防条例に関する事（警防に関するものに限る。）。 6 相互応援に関する事。 7 開発行為の協議に関する事。 8 消防施設及び機械器具の整備に関する事。 9 その他警防に関する事。

消防署（本署）

<p>管理調査係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関すること。 2 救急及び救助業務に関すること。 3 消防署内事務の連絡調整に関すること。 4 消防署職員の勤務編成に関すること。 5 消防署の公印の管守に関すること。 6 警防調査に関すること。 7 火災原因及び損害の調査に関すること。 8 罹災証明に関すること。 9 消防施設及び機器の管理に関すること。 10 消防地理及び水利に関すること。 11 消防通信に関すること。 12 その他消防署の管理調査に関すること。
<p>救助指導係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関すること。 2 救急及び救助業務に関すること。 3 救助統計に関すること。 4 消防署職員の教養訓練に関すること。 5 非常備消防、自主防災組織等の育成指導等に関すること。 6 演習、消防訓練の指導及び防火教育に関すること。 7 救助及び潜水訓練の安全管理に関すること。 8 救命索発射銃の保安管理に関すること。 9 消防機器及び救助資器材の管理及び研究開発に関すること。 10 消防通信に関すること。 11 その他消防、救助資器材及び訓練指導に関すること。
<p>救急係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関すること。 2 救急及び救助業務に関すること。 3 救急統計に関すること。 4 救命講習に関すること。 5 救急搬送証明に関すること。 6 救急業務高度化推進計画及び運用に関すること。 7 救急資器材の管理及び研究開発に関すること。 8 消防通信に関すること。 9 その他救急に関すること。

通信指令室	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関する事。 2 救急及び救助業務に関する事。 3 災害出動指令に関する事。 4 消防通信の運用及び管理に関する事。 5 災害時における関係機関への連絡に関する事。 6 非番員の招集に関する事。 7 気象特報水火災警報等に関する事。 8 気象観測に関する事。 9 その他消防通信に関する事。
-------	--

消防署（分署）

防災係	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関する事。 2 救急及び救助業務に関する事。 3 分署員の服務、規律及び教養に関する事。 4 分署員の勤務の編成に関する事。 5 各種届出の收受及び文書に関する事。 6 通信及び気象に関する事。 7 庁舎及び施設の管理に関する事。
消防係	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関する事。 2 救急及び救助業務に関する事。 3 消防訓練の指導及び演習に関する事。 4 防火思想の普及及び広報に関する事。 5 非常備消防、自主防災組織等の育成指導に関する事。 6 消防地利及び水利に関する事。 7 火災原因及び損害の調査に関する事。 8 消防資器材の整備及び管理に関する事。 9 その他災害対策に関する事。
救急救助係	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関する事。 2 救急及び救助業務に関する事。 3 救急及び救助統計に関する事。 4 救急及び救助資器材の管理に関する事。 5 救命講習に関する事。 6 その他救急救助業務に関する事。

人事関係

職員年齢構成表

H24. 4. 1

階級 年齢	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	合計	比較 (%)
50歳以上	1	5	12	7			2	27人	28.1%
45～50歳未満				4				4人	4.2%
40～45歳未満				11	1			12人	12.5%
35～40歳未満				1	15		1	17人	17.7%
30～35歳未満					5	4		9人	9.3%
25～30歳未満						16		16人	16.7%
20～25歳未満						9		9人	9.4%
18～20歳未満						2		2人	2.1%
計	1人	5人	12人	23人	21人	31人	3人	96人	100%
全職員の平均年齢 39.5 歳									

職員勤続年数

H24. 4. 1

階級 年数	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	合計	比較 (%)
30年以上		4	11	7				22人	22.9%
25～30年未満				5				5人	5.2%
20～25年未満				8				8人	8.3%
15～20年未満				3	15			18人	18.8%
12～15年未満					3			3人	3.1%
9～12年未満					1			1人	1.0%
6～9年未満	1				2	2		5人	5.2%
3～6年未満			1			15		16人	16.7%
3年未満		1				14	3	18人	18.8%
計	1人	5人	12人	23人	21人	31人	3人	96人	100%

職員の配置状況

H24. 4. 1

階級別 区分	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	計
消 防 本 部	1	3	5	1	3	2	3	18 人
消 防 署 (本 署)		1	4	15	11	23		54 人
消 防 署 (分 署)		1	3	7	7	6		24 人
計	1 人	5 人	12 人	23 人	21 人	31 人	3 人	96 人

職員の通勤距離

H24. 4. 1

距 離 勤務場所	5km未満	5～10 km	10～15 km	15～20 km	20～25 k m	25～30 k m	30 k m 以上	計
消 防 本 部 ・ 署	46	17	1	3	1	2	2	72 人
耶 馬 溪 分 署		1	4	2	13	4		24 人
計	46 人	18 人	5 人	5 人	14 人	6 人	2 人	96 人

予算関係

予算額と世帯、人口当たりの額（当初予算）

年度 \ 費用	予算額 (円)	世帯数 (戸)	1世帯 あたり (円)	人口 (人)	1人あたり (円)
平成23年度	1,003,890,000	36,717	26,230	85,532	11,260
平成24年度	963,087,000	37,258	25,849	85,784	11,227

※ 平成24年度の世帯数、人口は4月1日現在

消防費予算（歳出）

（単位：千円）

款	項	平成23年度	平成24年度
消防費	常備消防費	782,534	757,249
	非常備消防費	221,356	205,838
歳出合計		1,003,890	963,087

（単位：千円）

一般会計予算との割合	一般会計予算	消防費	割合
	39,040,885	963,087	2.47%

職員の各種資格免許取得状況

H24. 4. 1

区 分		階 級		司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務吏員	計
		実 数		1	5	12	23	21	31	3	96
自動車 関係	大 型	一 種		3	10	18	19	11			61
		特 殊			1	2	1	2			6
	中 型			1	2	2	2	1	9	3	20
	自 動 二 輪				6	11	7	11			35
救 急	救 急 救 命 士			1	1	7	5	4			18
	救 急 I 課 程			1	5	2					8
	救 急 II 課 程			2	10	8					20
	救 急 標 準 課 程					6	1				7
	救 急 科					1	13	4			18
	応 急 手 当 指 導 員			4	10	20	21	9			64
無 線	特 殊 無 線 技 師			5	11	23	21	29			89
	ア マ チ ュ ア 無 線 技 師				5	5	1				11
危 険 物	危 険 物 取 扱 者 免 許 甲 種										0
	危 険 物 取 扱 者 免 許 乙 種				5	3	6	7			21
	危 険 物 取 扱 者 免 許 丙 種				3						3
設 備 士	消 防 設 備 士 甲 種				1	1	1				3
	消 防 設 備 士 乙 種				2	1	3				6
	消 防 設 備 点 検 資 格 者 1										0
	消 防 設 備 点 検 資 格 者 2										0
救 助	免 許	潜 水 士				2	11	9	8		30
		小 型 船 舶 操 縦 士				3	7	11	2		23
	技 能 講 習	玉 掛 け				4	4	14	8		30
		小 型 移 動 ク レ ー ン				3	6	14	8		31
	特 別 教 育	ガ ス 溶 接				2	7	6			15
		巻 き 上 げ				3	9	18	13		43
		酸 素 欠 乏 危 険 作 業 主 任				2	12				14
		チ ェ ー ン ソ ー				2	8	15	4		29
入 校	救 助 科				2	10	13	1		26	
専 門 員	消 防 用 設 備 等 専 門 員				2	1				3	
	防 火 査 察 専 門 員				2	4				6	
	危 険 物 専 門 員				1	3				4	

予 防



管内地域別防火対象物の現況

H24.3.31

対 象 物 の 種 類		中津地域	三光地域	本耶馬溪地域	耶馬溪地域	山国地域	合計
1	イ 劇場・映画館等	4	1				5
	ロ 公会堂・集会場	49	6	9	12	6	82
2	イ キャバレー・ナイトクラブ等						
	ロ 遊技場・ダンスホール	15	1			1	17
	ハ 性風俗関連特殊営業を含む店舗等						
	ニ カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等	4					4
3	イ 待合・料理店	9			1		10
	ロ 飲食店	70	2	11	5	3	91
4	百貨店・マーケット	163	2	3	5	3	176
5	イ 旅館・ホテル、その他これらに類するもの	25	3	2	10	4	44
	ロ 寄宿舎・共同住宅	794	1	2			797
6	イ 病院・診療所	72	3		4	3	82
	ロ 老人短期入所施設等	20	8	2	1	2	33
	ハ 老人デイサービスセンター等	50	7	4	8	4	73
	ニ 幼稚園・特別支援学校	14	1				15
7	小中学校等各種学校	94	13	7	20	4	138
8	図書館・博物館・美術館	8		1	2		11
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ 公衆浴場	5	1		1	1	8
10	車両の停車場等						
11	神社・寺院・教会	44		4	2		50
12	イ 工場・作業場	361	44	17	36	16	474
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ 自動車車庫・駐車場	33	1	1		1	36
	ロ 飛行機等の格納庫						
14	倉庫	329	24	8	18	7	386
15	前各項に該当しない事業場	291	17	13	55	8	384
16	イ 1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	150	3	3	4	4	164
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	62		2		1	65
16の2	地下街						
16の3	準地下街						
17	重要文化財	2				1	3
18	アーケード（50m以上）	2					2
19	市町村長の指定する山林						
20	自治省令で定める舟車						
合 計		2,670	138	89	184	69	3,150

消防用設備等点検結果報告書の届出が必要な対象物

H24. 3. 31

対象物の種類		対象物数			
		1, 000㎡	1, 000㎡	総数	
		未満	以上		
1	イ	劇場・映画館等	4	1	5
	ロ	公会堂・集会場	73	9	82
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール	2	15	17
	ハ	性風俗関連特殊営業を含む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等	3	1	4
3	イ	待合・料理店	6	4	10
	ロ	飲食店	90	1	91
4		百貨店・マーケット	140	36	176
5	イ	旅館・ホテルその他これらに類するもの	34	10	44
	ロ	寄宿舎・共同住宅	709	88	797
6	イ	病院・診療所	63	19	82
	ロ	老人短期入所施設等	16	17	33
	ハ	老人デイサービスセンター等	69	4	73
	ニ	幼稚園・特別支援学校	15		15
7		小中学校等各種学校	58	74	132
8		図書館・博物館・美術館	9	1	10
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場			0
	ロ	公衆浴場	7	1	8
10		車両の停車場等			0
11		神社・寺院・教会	36	5	41
12	イ	工場・作業場	353	121	474
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			0
13	イ	自動車車庫・駐車場	30	6	36
	ロ	飛行機等の格納庫			0
14		倉庫	338	48	386
15		前各項に該当しない事業場	181	74	255
16	イ	1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	103	25	128
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	26	5	31
16の2		地下街			0
16の3		準地下街			0
17		重要文化財	3		3
18		アーケード (50m以上)	1	1	2
19		市町村長の指定する山林			
		合計	2, 369	566	2, 935

消防同意件数(計画変更を含む)

平成24年3月31日

対象物の種類		新築	増築	改築	移転	用途変更	修繕	模様替	合計	
1	イ	劇場・映画館等							0	
	ロ	公会堂・集会場	1						1	
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等							0	
	ロ	遊技場・ダンスホール		2					2	
	ハ	性風俗関連特殊営業を含む店舗等							0	
	ニ	カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等					1		1	
3	イ	待合・料理店	4						4	
	ロ	飲食店	3						3	
4		百貨店・マーケット	5						5	
5	イ	旅館・ホテルその他これらに類するもの							0	
	ロ	寄宿舎・共同住宅	11				1		12	
6	イ	病院・診療所	3	2					5	
	ロ	老人短期入所施設等	8	1		1			10	
	ハ	老人デイサービスセンター等	5	1					6	
	ニ	幼稚園・特別支援学校							0	
7		小中学校等各種学校	3			1			4	
8		図書館・博物館・美術館				1			1	
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場							0	
	ロ	公衆浴場							0	
10		車両の停車場等							0	
11		神社・寺院・教会	1						1	
12	イ	工場・作業場	9	14					23	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ							0	
13	イ	自動車車庫・駐車場	3						3	
	ロ	飛行機等の格納庫							0	
14		倉庫	20	2		1			23	
15		前各項に該当しない事業場	11	2					13	
16	イ	1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	1						1	
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	2						2	
16の2		地下街							0	
16の3		準地下街							0	
17		重要文化財							0	
18		アーケード(50m以上)							0	
19		市町村長の指定する山林							0	
合計			90	24	0	1	4	1	0	120

中高層建築物

H24.3.31

対象物の種類		4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階以上	計
1	イ 劇場・映画館等								0
	ロ 公会堂・集会場		1						1
2	イ キャバレー・ナイトクラブ等								0
	ロ 遊技場・ダンスホール			1					1
	ハ 性風俗関連特殊営業を含む店舗等								0
	ニ カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等			1					1
3	イ 待合・料理店		1						1
	ロ 飲食店	1							1
4	百貨店・マーケット	4	1						5
5	イ 旅館・ホテルその他これらに類するもの		1					5	6
	ロ 寄宿舎・共同住宅	40	10	7	11	5	2	13	88
6	イ 病院・診療所	5	4	1					10
	ロ 老人短期入所施設等	1	3						4
	ハ 老人デイサービスセンター等	1							1
	ニ 幼稚園・特別支援学校								0
7	小中学校等各種学校	8	1						9
8	図書館・博物館・美術館	1							1
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場								0
	ロ 公衆浴場								0
10	車両の停車場等								0
11	神社・寺院・教会								0
12	イ 工場・作業場								0
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ								0
13	イ 自動車車庫・駐車場								0
	ロ 飛行機等の格納庫								0
14	倉庫								0
15	前各項に該当しない事業場	12	2	4					18
16	イ 1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	14	5	3	5	2		1	30
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	2			2			1	5
合 計		89	29	17	18	7	2	20	182

防火管理者選任を要する対象物

H24. 3. 31

対 象 物 の 種 類		甲種防火管理者を選任しなければならない対象物	乙種防火管理者を選任しなければならない対象物	計	
1	イ	劇場・映画館等	3	2	5
	ロ	公会堂・集会場	43	31	74
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール	17		17
	ハ	性風俗関連特殊営業を含む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等	4		4
3	イ	待合・料理店	9	1	10
	ロ	飲食店	36	31	67
4		百貨店・マーケット	100	31	131
5	イ	旅館・ホテルその他これらに類するもの	23	2	25
	ロ	寄宿舎・共同住宅	58		58
6	イ	病院・診療所	34	3	37
	ロ	老人短期入所施設等	27	1	28
	ハ	老人デイサービスセンター等	41	9	50
	ニ	幼稚園・特別支援学校	12	2	14
7		小中学校等各種学校	42	1	43
8		図書館・博物館・美術館	4	4	8
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場			
	ロ	公衆浴場	4		4
10		車両の停車場等			
11		神社・寺院・教会	13	8	21
12	イ	工場・作業場	47	2	49
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫・駐車場	1	1	2
	ロ	飛行機等の格納庫			
14		倉庫	4	1	5
15		前各項に該当しない事業場	40	7	47
16	イ	1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	56	3	59
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	6		6
16の2		地下街			
16の3		準地下街			
17		重要文化財		1	1
18		アーケード（50m以上）			0
19		市町村長の指定する山林			
合 計			624	141	765

各種届出事務処理状況

平成24年3月31日

	種 別	届 出 数
火を使用する設備等の設置の届出	ボイラー等設置届出	4
	変電設備設置届出	13
	発電設備設置届出	9
	蓄電池設備設置届出	8
	ネオン管灯設備設置届出	
火災とまぎらわしい行為等の届出	火災とまぎらわしい煙の届出	82
	煙火打上届出	45
	催物開催届出	3
指定数量未満の危険物等の貯蔵取扱の届出	少量危険物貯蔵取扱の届出	8
	指定可燃物貯蔵取扱の届出	3
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱の届出	液化石油ガス	19
	毒物・劇物の届出	

	消 防 用 設 備 等 の 種 類	着工届	設置届	消防検査	
消防用設備等届出状況	警報設備	非常警報設備	/	16	17
		自動火災報知設備	54	69	72
		ガス漏れ警報設備			
		消防機関へ通報する火災報知設備	12	11	10
		漏電火災警報設備	/	1	1
	消火設備	屋内消火栓設備	8	12	12
		スプリンクラー設備	12	15	14
		水噴霧消火設備			
		泡消火設備			
		二酸化炭素消火設備			
		ハロゲン化物消火設備			
		粉末消火設備	2	1	1
		屋外消火栓設備	4	9	8
		パッケージ型消火設備			
		パッケージ型自動消火設備			
動力消防ポンプ設備	/				
避難設備	誘導灯	/	54	57	
	避難器具	6	5	3	
消火活動上必要な施設等	消防用水	/	1	1	
	排煙設備	/			
	連結散水設備	/			
	連結送水管	/			
	非常コンセント設備	/			
計		98	194	196	

住宅用火災警報器設置率の推移

第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目
平成22年3月	平成22年10月	平成23年3月	平成23年5月	平成23年11月
42.07%	50.50%	59.70%	71.80%	78.40%

※ 調査方法 大型商業施設において、アンケート調査です。
但し、第1回目の調査方法は全戸調査です。



**設置は
お済みですか？**

危 険 物



危険物製造所等の施設数

H24/3/31現在

区分 \ 地域		地域					計
		中津地域	三光地域	本耶馬溪地域	耶馬溪地域	山国地域	
製造所	製造所	1					1
	製造所 小計	1	0	0	0	0	1
貯蔵所	屋内貯蔵所	27	4		1		32
	屋外タンク貯蔵所	38	2		2	1	43
	屋内タンク貯蔵所	4					4
	地下タンク貯蔵所	33	8		5	3	49
	簡易タンク貯蔵所						0
	移動タンク貯蔵所	22	3	2	1	1	29
	屋外貯蔵所	5					5
	貯蔵所 小計	129	17	2	9	5	162
取扱所	給油取扱所	47	7	5	5	3	67
	一般取扱所	38	3	1		1	43
	取扱所 小計	85	10	6	5	4	110
合計		215	27	8	14	9	273

危険物事務処理状況 (許可又は検査の数)

H23/4/1~H24/3/31

区分		製造所		貯蔵所						取扱所			合計		
		製造所	小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所		一般取扱所	小計
許可	設置許可		0								0	1	1	1	
	変更許可	4	4	3						3	9	9	18	25	
	移動タンク	転出							1		1				1
		転入									0				0
完成	設置完成		0							0	1	1	1	1	
	変更完成	4	4	3						3	9	8	17	24	
	移動タンク							0		0				0	
廃止届			0	1			5		1	7	3	5	8	15	
仮使用		4	4						1	1	7	8	15	20	
保安監督者		選任届	1	1	7	22				3	32	2	3	5	38
		解任届	1	1	6	21				2	29	2	3	5	35

タンク検査申請							仮貯蔵・仮取扱
合計	水圧検査	小計	600ℓ以下	600ℓ~10kℓ	10kℓ~20kℓ	20kℓを超える	仮貯蔵
158	件数	138	39	84	11	4	1
	水張検査	小計	10kℓ以下	10kℓ~1000kℓ	1000kℓ~2000kℓ	2000kℓを超える	仮取扱
	件数	20	15	5	0	0	0

消 防 団



方面団別消防団員実員状況

H24. 4. 1

	団長	方面団長	方面副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本 部	1								1
第1方面団 (中津地域)		1	2	13	13	13	39	225	306
第2方面団 (三光地域)		1	3 (1)	19 (5)	14	14	42	193	286
第3方面団 (本耶馬溪地域)		1	2	21 (5)	16	16	48	101	205
第4方面団 (耶馬溪地域)		1	2	21 (6)	15	15	45	128	227
第5方面団 (山国地域)		1	2	20 (5)	15	15	45	117	215
計	1	5	11 (1)	94 (21)	73	73	219	764	1,240

※ () 内数は、専任指導員の数

方面団別及び年齢別消防団員数

H24. 4. 1

	20歳以下	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56歳以上	計
本 部									1	1
第1方面団 (中津地域)	3	20	32	59	55	50	38	22	27	306
第2方面団 (三光地域)		1	16	30	50	40	47	63	39	286
第3方面団 (本耶馬溪地域)	1	8	16	18	19	29	47	47	20	205
第4方面団 (耶馬溪地域)	1	4	16	15	39	35	44	43	30	227
第5方面団 (山国地域)		7	19	31	21	30	34	44	29	215
計	5	40	99	153	184	184	210	219	146	1,240

方面団別消防機械の配置状況

H24. 4. 1

区分 方面団名	消防ポンプ 自動車	小型動力 ポンプ積載車	計
第1方面団 (中津地域)	13		13
第2方面団 (三光地域)		15	15
第3方面団 (本耶馬溪地域)		17	17
第4方面団 (耶馬溪地域)	1	14	15
第5方面団 (山国地域)		16	16
計	14	62	76



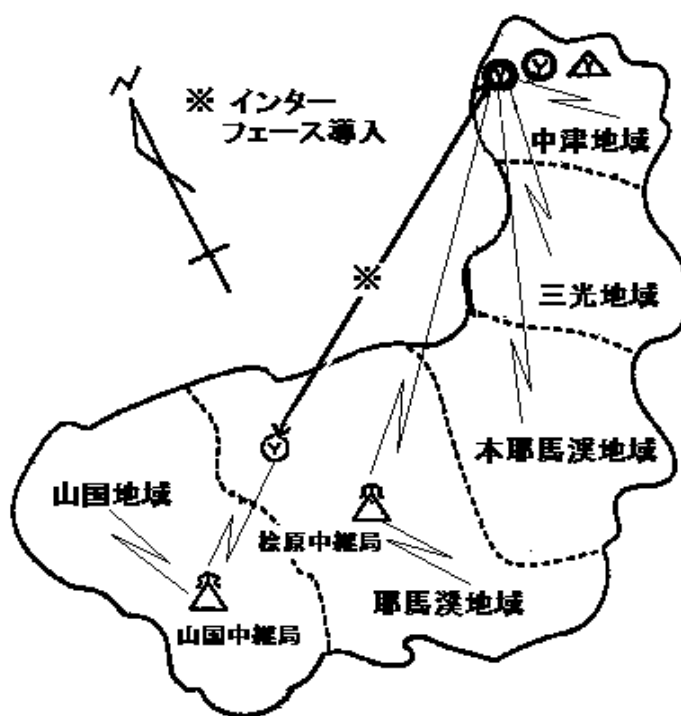
通信指令



通信指令室概要

消防通信は、「消防・救急部隊の運用は通信に始まり通信に終わる」といっても過言でないほど消防業務遂行上重要な役割をはたしています。平成12年3月に通信指令システムの更新により、119番受付から現場活動、災害事案の終了までを迅速かつ的確に行え、救急サービスの向上、災害による被害の軽減に大いに効果を発揮してきたところです。今後とも、複雑多様化する災害に対処して、地域住民が安心して暮らせる町づくりに貢献していききたいと思います。

凡	例
	消防本部
	消防署
	分署
	消防団本部
	消防無線
	無線中継局
	NTT回線
	管界
	地域界



※ 消防中津（本署）－消防耶馬溪（分署）間にNTT回線を利用してインターフェースを導入

通信施設

種 別 配置場所	消 防 有 線 等								消 防 無 線			
	119番専用回線			一般加入電話	携帯電話	庁内電話	ファックス	テレドーム	固定局	基地局	移動局 10w	移動局 1w
	アナログ	携帯電話	I P 電話									
消防本部・署	13	4	6	8	5	30	5	1	1	1	15	16
耶馬溪分署				3	2	5	1		(1)	1	4	4
分団（中津市）												16
桧原中継局									1	1		
山国中継局									1	1		
計	13	4	6	11	7	35	6	1	4	4	19	36

※（１）は第２通信所が中津消防本部内あり、N T T回線を利用

無線局一覧表

呼出名称	無線局の種別	免許番号	免許年月日	装 備 波	備 考
しょうぼうなかつ	基地局	九基第5620号	H.23.6.1	153.71MHz	市町村波
				150.73MHz	全国波
				149.69MHz	県内波
				147.74MHz	救急波
しょうぼうなかつ	固定局	九基第42902号	H.19.12.1	149.63MHz	中津本署－桧原
				150.73MHz	全国波
しょうぼうやばけい	基地局	九基第5621号	H.23.6.1	153.71MHz	市町村波
しょうぼうやばけい	固定局	九基第42904号	H.19.12.1	154.31MHz	耶馬溪分署－山国
しょうぼうひばる	基地局	九基第5955号	H.23.6.1	153.71MHz	市町村波
しょうぼうひばる	固定局	九基第42903号	H.19.12.1	149.63MHz	桧原－中津本署
しょうぼうやまぐに	基地局	九基第5968号	H.23.6.1	153.71MHz	市町村波
しょうぼうやまぐに	固定局	九基第43006号	H.19.12.1	154.31MHz	山国－耶馬溪分署

119通報受信件数

内 容	119番									119番以外							合 計	左表の119番通報の内 固定電話以外の通報		
	火 災	救 急	警 戒	問 合	いた ずら	無 応 答	試 験	そ の 他	小 計	一 般	警 直	駆 込 み	自 己 覚 知	緊 急 通 報 シ ス テ ム	そ の 他	小 計		携 帯 電 話	I P 電 話	計
1月	4	218	1	39	5	3	20	53	343	77	13	2	1	5	0	98	441	52	36	88
2月	7	178	1	22	1	3	32	33	277	60	9	3	2	6	0	80	357	51	34	85
3月	6	226	3	24	1	7	40	56	363	61	9	0	1	6	1	78	441	69	39	108
4月	12	178	2	25	0	5	28	42	292	73	16	1	1	7	0	98	390	59	27	86
5月	3	202	1	27	4	9	27	50	323	52	4	1	0	5	0	62	385	52	16	68
6月	4	196	1	34	0	2	36	36	309	64	15	2	0	1	1	83	392	51	35	86
7月	9	228	1	65	1	3	26	59	392	74	14	0	0	8	0	96	488	70	38	108
8月	7	252	0	41	1	5	52	53	411	69	15	4	0	9	1	98	509	93	37	130
9月	0	210	5	25	1	13	70	34	358	62	26	2	1	6	1	98	456	56	39	95
10月	2	231	1	36	1	6	38	42	357	66	16	3	0	5	0	90	447	77	27	104
11月	0	185	2	31	0	3	41	54	316	68	14	2	0	13	0	97	413	58	22	80
12月	2	214	0	26	0	4	40	80	366	78	10	0	1	5	0	94	460	67	33	100
合計	56	2,518	18	395	15	63	450	592	4,107	804	161	20	7	76	4	1,072	5,179	755	383	1,138

緊急通報システムの受信状況等

このシステムは、自動的に消防署へ通報することができる機能を持った電話機を、利用者宅に設置したもので、管内に居住する65歳以上の一人暮らしの老人宅991箇所を設置しています。

独居老人緊急通報システム受信内容

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災													
救急	6	4	4	9	5	2	10	9	13	4	12	6	84
試験	27	29	14	26	36	68	190	262	173	116	9	15	965
間違い	35	17	19	9	19	20	39	24	25	25	16	17	265
相談	3	2	2					1			2	3	13
電池切れ	32	19	27	32	23	40	28	37	26	26	33	30	353
停電	57	30	30	36	26	26	56	43	45	31	64	49	493
その他	43	25	15	16	7	20	42	29	33	18	45	41	334
合計	203	126	111	128	116	176	365	405	315	220	181	161	2,507

地域別受信件数

地域別 区分	中津地域	三光地域	本耶馬溪 地域	耶馬溪 地域	山国地域	計
火災						
救急	63	1	8	10	2	84
試験	664	19	99	110	73	965
間違い	167	9	27	38	24	265
相談	12			1		13
電池切れ	264	12	45	20	12	353
停電	396	22	22	19	34	493
その他	253	17	15	18	31	334
合計	1819	80	216	216	176	2,507

地域別登録者数

	中津地域	三光地域	本耶馬溪 地域	耶馬溪 地域	山国地域	計
男	74	13	16	19	11	133
女	480	50	90	106	64	790
計	554	63	106	125	75	923

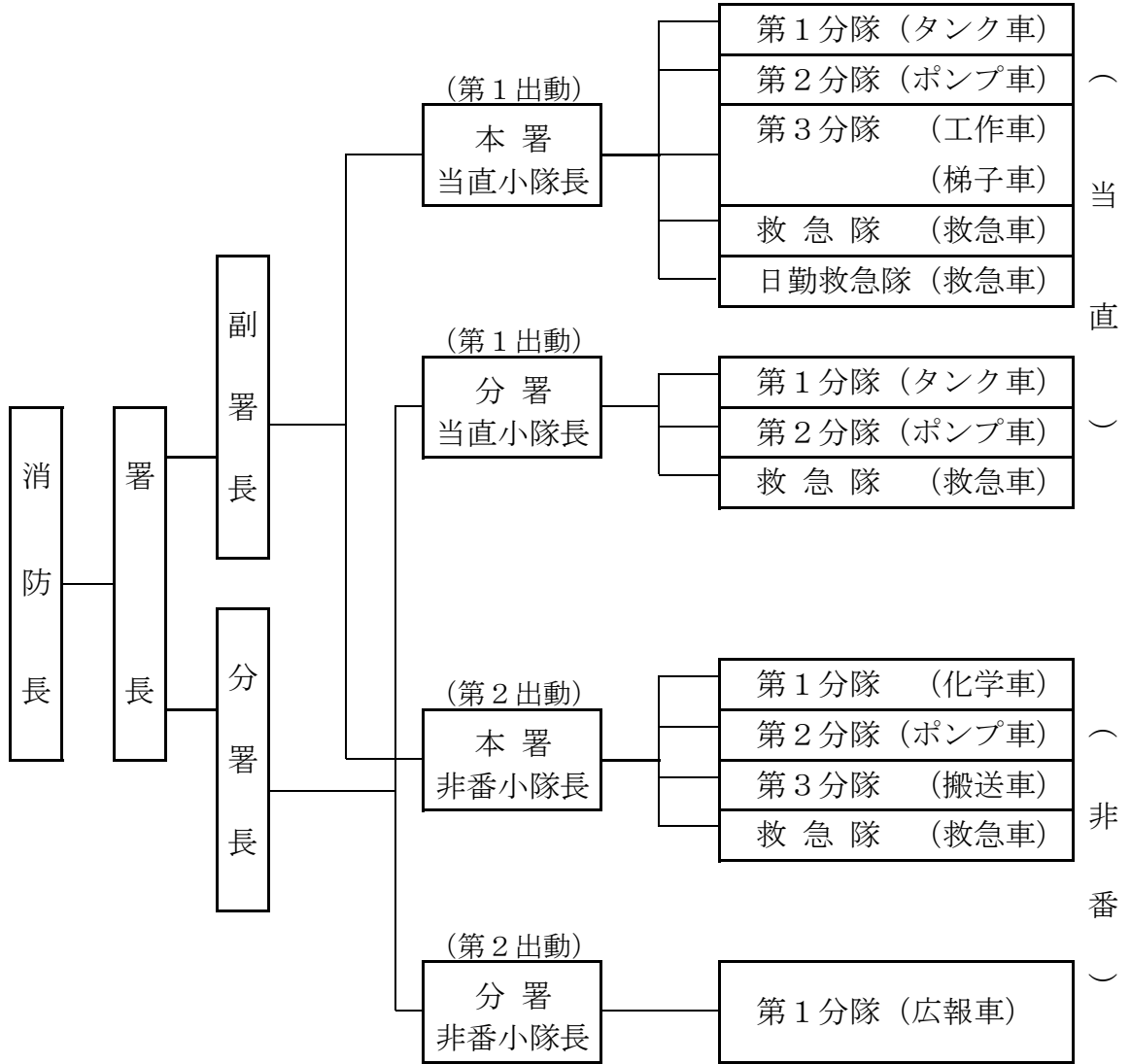
※ 電池切れ……電話機のコンセントのはずれ、台風や落雷等で停電したときに発信する

※ 間違い……操作ミスによる発信又は子供のいたずら

火災・管理・調査



出動区分表



年次別火災統計

区分 年	火災件数					焼損棟数					建物火災				林野火災		車両火災		船舶	その他	損害額	死者 (人)	
	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	面 積 (㎡)	損害額			面 積 (a)	損 害 額 (千円)	台 数 (台)	損 害 額 (千円)	損 害 額 (千円)	損 害 額 (千円)	合 計 (千円)		
												建 物 (千円)	収 容 物 (千円)	計 (千円)									
平成10年	8				8	5	3	4	12	447	34,102	2,667	36,769							36,769	5		
平成11年	21	1	4		1	27	14	5	8	2	29	2,139	101,945	15,196	117,141	20	300	5	355		117,796	1	
平成12年	16	1	2		1	20	12		7	1	20	1,270	36,168	20,899	57,067	28	2,000	2	270		90	59,427	
平成13年	17	1	7			25	13	3	6		22	1,286	57,416	11,215	68,631	23	500	7	2,149			71,280	3
平成14年	14	3			2	19	9	1	6	1	17	1,292	44,065	6,190	50,255	24	575					50,830	4
平成15年	13	1	6	1	6	27	6	1	5	3	15	657	25,472	8,566	34,038	10	3	9	1,595	681	468	36,785	3
平成16年	26	6	7		7	46	11	4	13	11	39	4,490	172,056	61,388	233,444	1,843	2,711	9	2,798		480	239,433	3
平成17年	28	6	6	1	20	61	14		13	12	39	2,125.4	57,360	31,048	88,408	18.9	147	6	810	2	30	89,397	2
平成18年	32	2	4		16	54	10	2	6	17	35	1,302.1	51,541	39,520	91,061	3.4		7	1,277		349	92,687	1
平成19年	31	4	4		14	53	11	2	12	15	40	2,350.9	101,344	75,873	177,217	35.8	157	6	224		106	177,704	1
平成20年	21	3	5		22	51	5	2	6	13	26	804.2	45,496	7,792	53,288	30.0	16	5	330		165	53,799	2
平成21年	26	4	3		12	45	8	2	2	20	32	1,368.0	75,362	10,184	85,546	1,016.0	4,296	4	157		2	90,001	
平成22年	18	8	1		15	42	9	3	10	7	29	1,105.9	32,635	11,269	43,904	48.5		2	65			43,969	2
平成23年	24	14	2		12	53	9	9	7	11	36	2,268.1	319,321	50,460	370,016	666.2	2,094	2	142		16	372,268	1

月別火災発生件数

月	地 域					件数	焼損面積			損 害 額 (千円)
	中 津 地 域	三 光 地 域	本 耶 馬 溪 地 域	耶 馬 溪 地 域	山 国 地 域		建物(m ²)		林 野 (a)	
							床 面 積	表 面 積		
1月	5	1				6	19.1	10.7	0.0	1,393
2月	2	2				4	191.0	0.0	0.2	2,333
3月	5	3		2		10	0.0	5.6	41.1	19
4月	2	5	1	2	1	11	134.0	277.0	607.6	20,698
5月	1	2				3	38.7	0.0	7.0	17,627
6月	1			1		2	146.6	0.0	0.0	6,122
7月	4	1	1			6	271.6	2.4	0.2	13,361
8月	3					3	1457.5	224.6	0.8	309,992
9月	3					3	0.0	0.0	0.0	53
10月	1				1	2	0.0	0.0	9.4	448
11月	1					1	0.0	0.0	0.0	8
12月	1					2	9.6	0.0	0	214
計	29	15	2	5	2	53	2,268.1	520.3	666.21	372,268

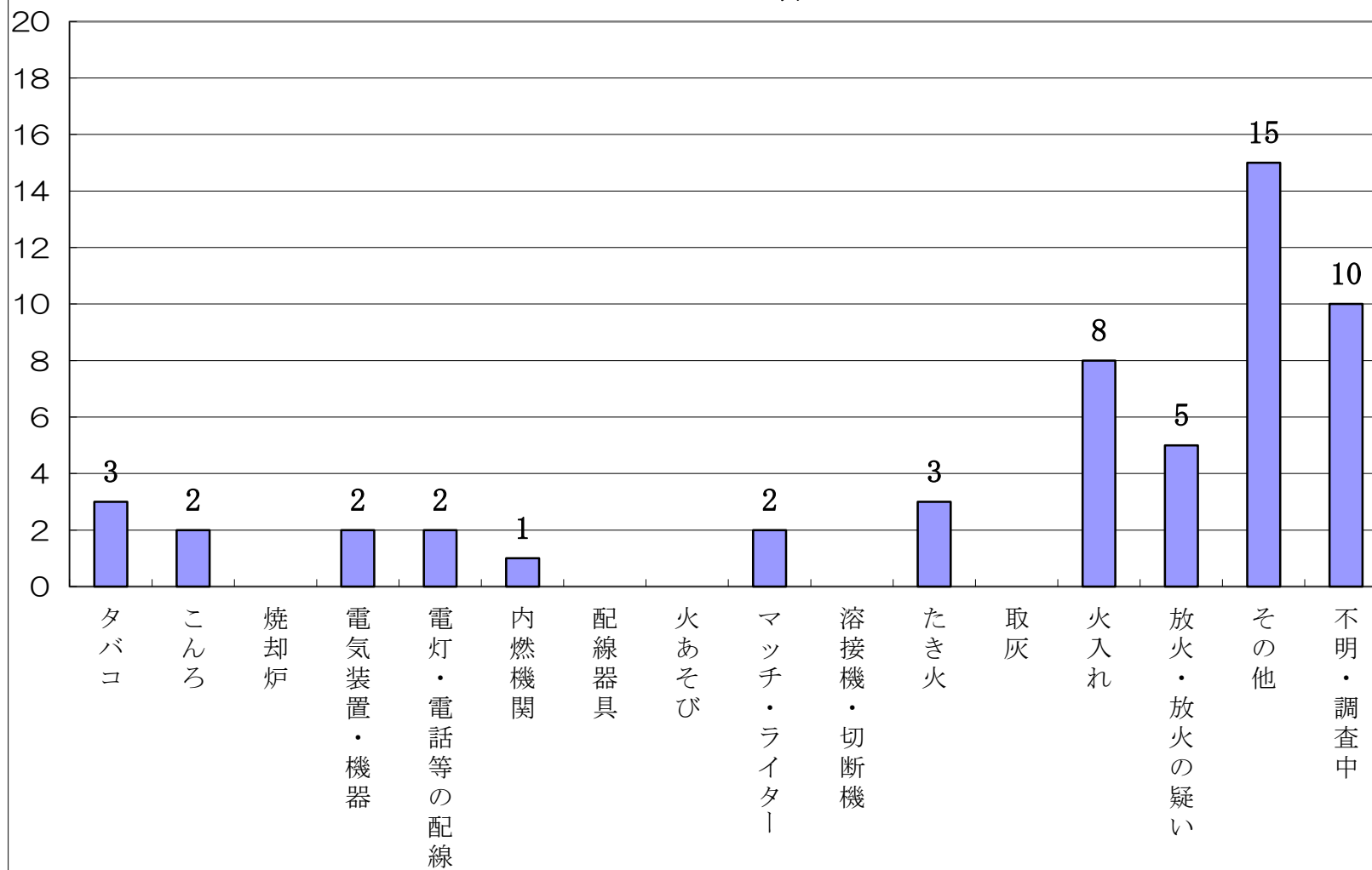
地域別の火災発生状況及び被災状況

区分 地域	火災種別						焼損棟数					焼損程度				罹災人員	死傷者		
	建物	林野	車両	爆発	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	計		死者	負傷者	
中津地域	14	4	2	1	8	29	7	6	4	10	27	8			9	17	36	1	
三光地域	7	7			1	15	1	3	1	1	6								
本耶馬溪地域	1				1	2	1				1	1					1		
耶馬溪地域	1	2			2	5					0								
山国地域	1	1				2			1		1								
計	24	14	2	1	12	53	9	9	6	11	35	9	0	9	17	37	1	0	

区分 地域	建 物					林 野		車 両		爆 発		その他	合計損害額 (千円)
	面積 (㎡)		損害額(千円)		計 (千円)	面積 (a)	損害額 (千円)	台数 (台)	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	損害額 (千円)	
	床面積	表面積	建 物	収容物									
中津地域	1,941.3	242.6	304,036	20,755	324,791	3.0	0	3	267	1	0	1	325,059
三光地域	142.1	270.7	9,398	29,247	38,645	24.14	0	1	110	0	0	0	38,755
本耶馬溪地域	170.0	0.0	5,682	0	5,682	0	0	0	0	0	0	0	5,682
耶馬溪地域	0.0	7.0	13	0	13	629.7	1,741	0	0	0	0	15	1,769
山国地域	14.7	0.0	192	458	650	9.4	353	0	0	0	0	0	1,003
計	2,268.1	520.3	319,321	50,460	369,781	666	2,094	4	377	1	0	16	372,268

出火原因

全 53件



時間帯別出火件数

時間帯	件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0-2													
2-4	2					1		1					
4-6													
6-8	1				1								
8-10	3			3									
10-12	8	1		2	1	1	1	1		2			
12-14	5	2		1	1								
14-16	10		1	2	3	1	1	1			1	1	
16-18	6	1			2			1					1
18-20	8	2		1	2				1	1			1
20-22	7		2	1	1			1	1		1		
22-24	3		1					1	1				
	53	6	4	10	11	3	2	6	3	3	2	1	2

曜日別出火件数

曜日	件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日	4			3						1			
月	11	2		2	4	1	1	1	1				
火	5	1	1				1			1			
水	5	2		1							1		
木	6				1			1	1	1	1		2
金	10	1		3	2	1							
土	12		3	1	4	1		1	1			1	
	53	6	4	10	11	3	2	3	3	3	2	1	2

消防水利の現有状況

H24. 4. 1

区分		地域					合計	
		中津地域	三光地域	本耶馬溪地域	耶馬溪地域	山国地域		
消 火 栓	公 設	957	19				976	
	私 設	13					13	
	計	970	19				989	
防 火 水 槽	公 設	20m ³ ~40m ³	1			16	17	
		40m ³ 以上	115	111	99	93	64	482
		計	116	111	99	109	64	499
	私 設	20m ³ ~40m ³						
		40m ³ 以上	4					4
		計	4					4
の そ 水 の 利 他	河 川 (池)	1		8	14		23	
	プ ー ル	18	5	3	4	2	32	



特殊災害（B. C）活動用資器材

H24. 4. 1

区分	資器材名	本 署	分署	計
隊員保護用器具	化学防護服	3		3
	プレシャータストキット	1		1
	タイベック防護服（プロテックF型）	10		10
	（S）	（1）		
	（M）	（4）		
	（L）	（4）		
	（XL）	（4）		
	タイベック防護服（5428PEコート）	10		10
	（L）	（5）		
	（LL）	（5）		
	化学防護長靴	3		3
	耐薬品用長靴	10		10
	耐薬品用手袋	40		40
隊員用ろ過式呼吸用保護具	5		5	
吸収缶	20		20	
測定器	有毒ガス測定セット（北川式）P-50 UFO-II型	1		1
その他の測定器	ガンマ線及びエックス線用線量率計 RDS-30	1		1
	電子式個人放射線量計 CPXANRFA-30	5		5

救助・指導



救助概要

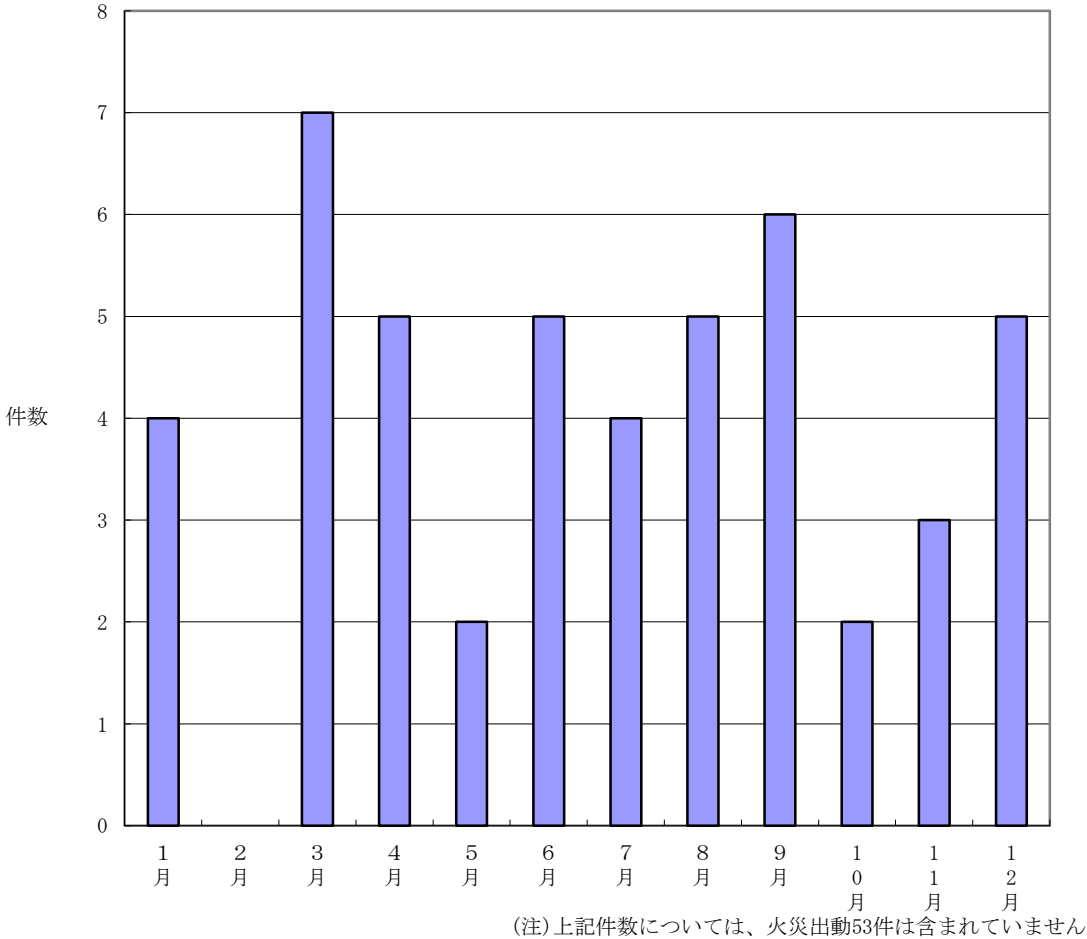
平成23年中の救助出動件数は48件で、交通事故が24件と最も多く全体の約50%をしめており、ついでその他の事故10件（約20%）となっています。また救助人員については、36名です。

救助活動に従事する隊員には強靱な体力、不屈の精神力と合わせて災害現場において救助資機材を有効に活用するための高度な技術や知識が要求されます。そのため救助隊員は、日夜たゆまぬ努力と厳しい訓練をくり返し、住民の生命身体の安全確保に努めています。

事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	風水害	機械による事故	建物による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	合計
出動件数	0	24	7	0	2	5	0	0	10	48
活動件数	0	12	5	0	2	3	0	0	6	28
救助人員	0	17	5	0	5	3	0	0	6	36
出動人員	0	255	66	0	20	37	0	0	84	462
活動人員	0	136	46	0	20	23	0	0	43	268



月別救助出動件数 (H23/1/1～H23/12/31)



救助出動件数等

年間出動件数 48件 (火災件数を除く)

年間救助人員 36人

1ヶ月の平均出動件数 約 4 件

発生場所別救助活動の状況

(H23/1/1～H23/12/31)

区分	発生場所		屋 外						地 下	そ の 他	合 計
	住 居	その他屋内	道 路		水 面		山 岳	その他の屋外			
			国 道	高 速 道 路	内 水面	外 水面					
出場件数	5	3	0	23	8	0	4	5	0	0	48
活動件数	4	2	0	11	6	0	3	2	0	0	28
救助人員	4	5	0	15	6	0	4	2	0	0	36

消防機材等の現有状況

H24. 4. 1

区分	資機材名	本 署	分 署	計
消 防 資 機 材	空気呼吸器	27	6	33
	空気ボンベ	61	13	74
	空気充填用コンプレッサー	1		1
	ジェットシューター	4	23	27
	ホース(40mm)	43	10	53
	ホース(50mm)	84	86	170
	ホース(65mm)	137	49	186
	携帯警報器	23	6	29
	タイムキーパー(一式)	1		1
	Aクラス消火剤	550	20	570
	エアーフォームノズル	6		6
	送排風機	2		2
	救 助 資 機 材	ポートパワー		1
ガス溶断機		1		1
酸素溶断器		1		1
マルチ測定器(4種類)			1	
可燃性ガス探知器		1		1
有毒ガス測定器		1		1
酸素濃度測定器		1		1
画像探索システム(プロアイ)		1		1
空気式救助マット		1		1
緩降器(スローダン35m)		1		1
携帯用コンクリート破壊器具		1		1
削岩機		1		1
ハンマードリル		1		1
バッテリー式救助用破壊器具		1		1
万能斧		11	2	13
救助用支柱器具		1		1
ロールグリス		1		1
バスケット担架		2	1	3
平担架		1		1
バックボード		5	4	9
バーチカルストレッチャー		1	1	
エンジンカッター	2		2	
チェーンソー	3	1	4	

区分	資機材名	本 署	分 署	計
救助資機材	隊員降下用縛帯	10	4	14
	耐電衣	2		2
	耐電ズボン	2		2
	耐電手袋	11	7	18
	耐電長靴	2		2
	ラムシリンダー	1		1
	可搬式ウインチ	2	1	3
	油圧切断器	2	1	3
	油圧スプレッダー	3	1	4
	電動スプレッダー	1		
	電動カッター	1		
	重量物排除器具セット	1		
	マット型空気ジャッキ	3	2	5
	救命索発射銃	3		3
潜水資機材	潜水器具一式	11		11
	救命浮環	9	3	12
	救命胴衣	13	4	17
	水中引揚検索棒	2		2
	水中検索磁石	1		1
	フローテンションカラー	1		1
	携帯水中ライト	9		9
	救命ボート	1		1
	船外機	1		1
	ウェットスーツ	20		20
	ドライスーツ	8		8
照明機具	投光器一式	8	1	9
	携帯用発電機	8	1	9
	携帯ライト	27	12	39
その他資機材	ジャッキ（10t）	1	1	2
	ジャッキ（20t）	2		2
	かぎ付はしご	2		2
	三連はしご	3	1	4
	二連はしご	4	1	5
	携帯マイク	5	2	7

車両の配置状況

H24. 4. 1

種別 所属	水槽付きポンプ車	消防ポンプ車	化学車	救助工作車	梯子車	指揮車	高規格救急車	査察車	事務連絡車	資機材搬送車	人員搬送車	広報車	救急予備車	団本部指令車	計
消防本部								1	1		1			1	4
消防署	1	2	1	1	1	1	2			1			1		11
耶馬溪分署	1	1					1					1	1		5
計	2	3	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	2	1	20

消防用車両等一覧表

H24. 4. 1

所属	呼称	登録番号	車輛種別	車名	年式	型式	排気量	ポンプメーカー	ポンプ級別	呼出名称	配置年月	車両総重量(kg)
本部	1号車	大分88や3755	水槽付ポンプ自動車	日産	H-8	KC-LK211EN改	6920cc	森田ポンプ	A-2	消防中津1	H8. 12	8610
	2号車(CD- I)	大分800さ9050	消防ポンプ自動車	日野	H-21	BDG-XZU378M	4000cc	森田ポンプ	A-2	消防中津2	H21. 9	5505
	はしご車	大分88や3312	梯子付ポンプ自動車	日野	H-6	U-PR2FNAF改	17230cc	森田ポンプ	A-2	消防中津51	H6. 2	19330
	化学車	大分800は797	化学消防ポンプ自動車	日野	H-23	BDG-GX7JGWA改	6400cc	日本機械	A-2	消防中津4	H23. 2	10895
	3号車(CD- I)	大分800す384	消防ポンプ自動車	日野	H-24	SKG-XZU685M	4000cc	日本機械	A-2	消防中津3	H24. 2	5525
	救助工作車	大分800は475	特殊車	日野	H-18	ADG-GX7JGWA	6400cc			消防中津8	H18. 4	10470
	救急車1	大分800さ8212	高規格救急自動車	トヨタ	H-20	CBF-TRH226S	2690cc			救急中津1	H20. 3	3215
	救急車2	大分800さ4162	高規格救急自動車	日産	H-14	GE-FLWGE50改	3490cc			救急耶馬溪1	H14. 11	3355
	救急予備車	大分800さ5232	B-2	トヨタ	H-16	TC-VCH22S	3370cc			救急中津2	H16. 3	2725
	指揮車	大分800さ9391	普通バン	トヨタ	H-22	CBF-TRF226K	2690cc			消防中津5	H22. 3	3070
	団本部指令車	大分830て119	普通乗用車	トヨタ	H-17	CBA-ANM15G	1990cc			消防中津52	H17. 3	1945
	資機材搬送車	大分800さ3336	普通バン	いすゞ	H-14	KG-JCWMGE25	2950cc			消防中津9	H14. 1	3310
	査察車	大分88な6632	普通乗用車	トヨタ	H-9	E-AT211	1760cc			消防中津7	H9. 3	1445
	人員搬送車	大分800さ2917	普通ワゴン	マツダ	H-13	KH-SGLW	2490cc			消防中津10	H13. 7	2180
事務連絡車	大分500は7907	普通乗用車	日産	H-16	UA-WFY11	1490cc				H16. 11	1445	
分署	1号車	大分800は327	水槽付ポンプ自動車	日野	H-16	KK-GX1JGEA	7960cc	日本機械	A-1	消防耶馬溪1	H16. 2	10210
	2号車(CD- I)	大分800さ2180	消防ポンプ自動車	三菱	H-12	KK-FG53ED	5240cc	吉谷機械	A-1	消防耶馬溪2	H12. 11	5260
	救急車	大分800さ9293	高規格救急自動車	トヨタ	H-22	CBF-TRH226S	2690cc			救急耶馬溪2	H22. 2	3195
	広報車	大分88さ8813	普通バン	三菱	H-6	Y-P35W改	2470cc			消防耶馬溪3	H6. 8	2480
	救急予備車	大分88す1694	高規格救急自動車	トヨタ	H-10	GB-VCH38S	3370cc			消防中津50	H10. 2	3065
	小型動力ポンプ			トーハツ	H-8	2WT72AA	50馬力	トーハツ	B-2		H8. 9	

相互応援協定締結状況

H24. 4. 1

協定名称	締結市町村名等	締結の状況	締結年月日
大分県常備消防相互応援協定	大分県下14消防本部	火災・救急・救助・ その他災害について	昭和51年 3月31日
大分県防災ヘリコプター応援協定	大分県・大分県下14消防本部	火災・救急・救助・ その他災害について	平成 9年 6月 1日
大分海上保安部と中津市消防本部との船舶火災に関する業務協定	大分海上保安部	船舶火災について	平成17年 3月 1日
大分県内におけるドクターヘリの運航に係る協定	大分県、福岡県	救急について	平成18年 4月 1日
福岡県田川地区消防組合、中津市消防相互応援協定	福岡県田川地区消防組合	火災・救急・救助・ その他災害について	平成19年 12月 1日
中津市、上毛町消防相互応援協定	上毛町（福岡県）	火災・救急・救助・ その他災害について	平成20年 6月10日
中津市、吉富町消防相互応援協定	吉富町（福岡県）	火災・救急・救助・ その他災害について	平成20年 7月 1日
京築広域市町村圏事務組合、中津市消防相互応援協定	京築広域市町村圏事務組合（福岡県）	火災・救急・救助・ その他災害について	平成20年 7月 1日

調査・指導等活動状況

	本 署	分 署	計
防 火 訓 練	122	41	163
見 学	35	2	37
職 場 体 験	6	0	6
高 層 ビ ル 等 警 防 立 入			0
水 利 調 査 (防 火 水 槽 ・ 消 火 栓)	101	95	196
一 人 暮 ら し 老 人 宅 訪 問	0	34	34



救 急



救急概要

平成23年の救急出動件数は3,572件、搬送人員は3,395人で、出動件数は前年比+25件で、過去最高の出動件数となりました。

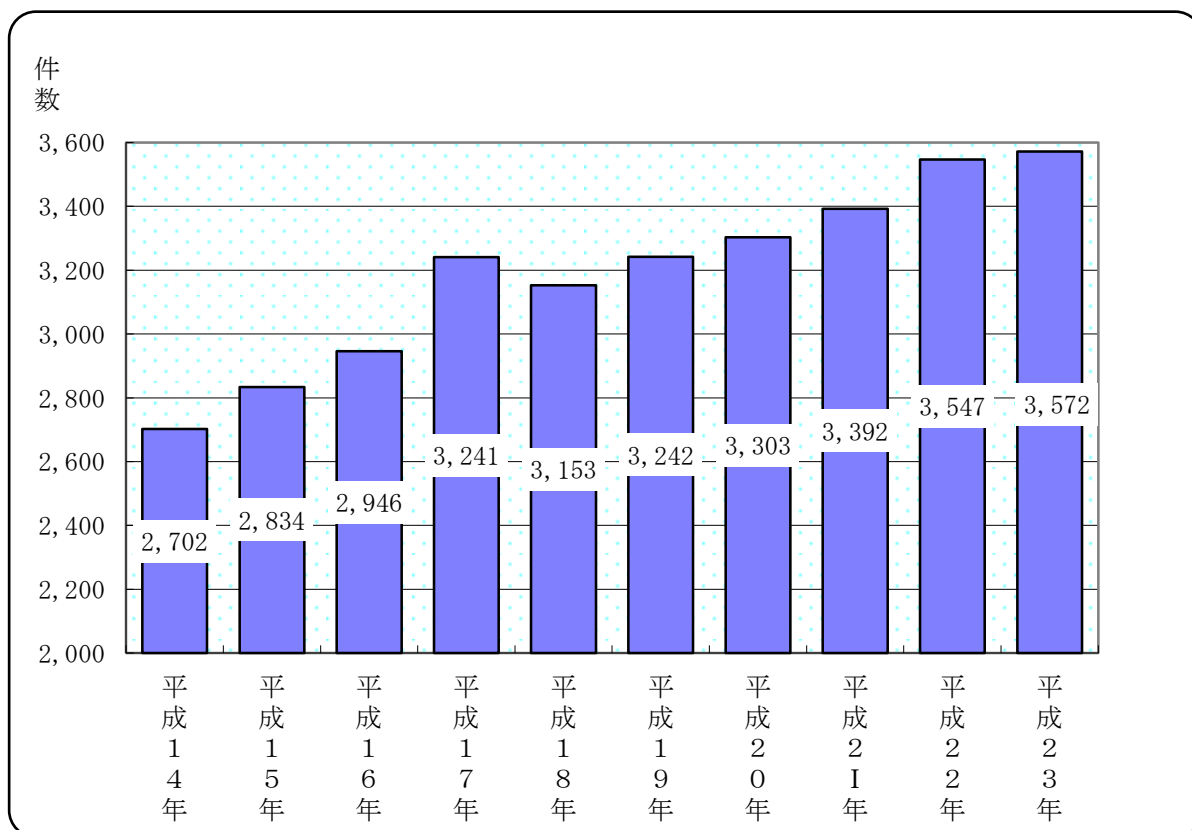
事故種別別出動件数

		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
事 故 種 別	火 災	2	5	5	1	1
	自然災害	0	0	0	0	
	水 難	1	0	2	1	3
	交 通	327	312	311	331	325
	労働災害	31	16	16	16	15
	運動競技	20	21	9	20	14
	一般負傷	398	410	439	438	422
	加 害	9	14	22	19	23
	自損行為	49	30	41	32	43
	急 病	1,632	1,694	1,672	1,834	1,925
そ の 他	転院搬送	750	779	853	825	780
	医師搬送	1	0	1	1	
	資器材搬送	0	1	0	0	
	その他	22	21	21	29	21
不 搬 送		243	231	235	230	226
搬 送 人 員		3,061	3,146	3,210	3,383	3,395
出 動 件 数		3,242	3,303	3,392	3,547	3,572

各種救急講習会受講者数

	本署	分署	計
上級・普通救命講習	35回 (616人)	1回 (17人)	36回 (633人)
救急法の講習	66回 (2,382人)	10回 (236人)	76回 (2,618人)

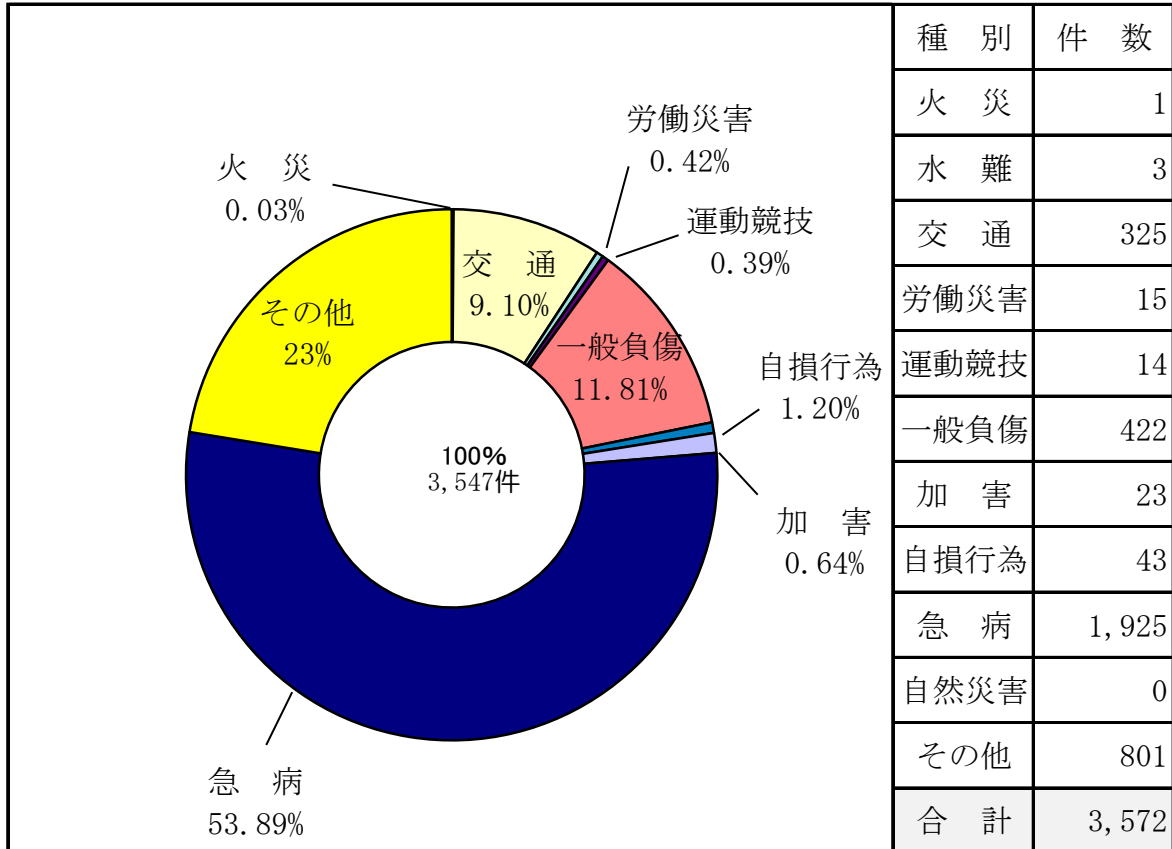
過去10ヶ年救急出動件数の推移状況



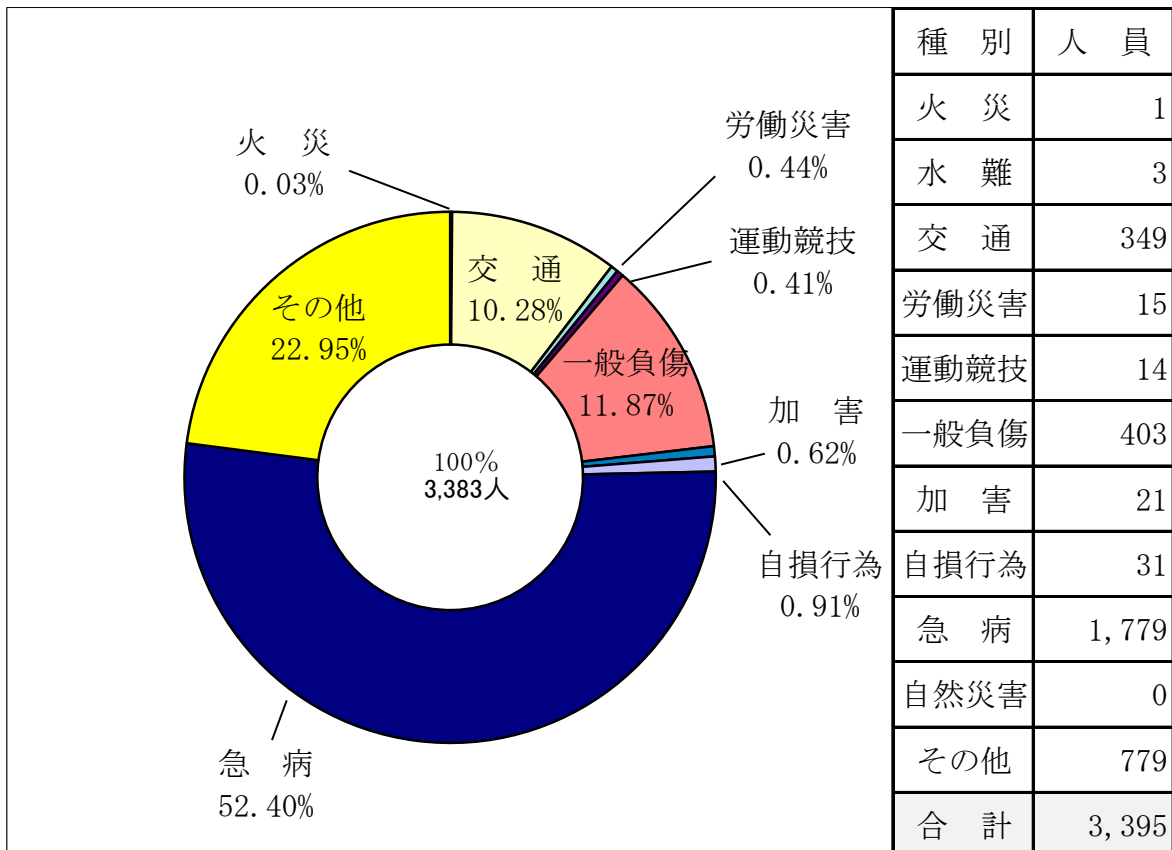
地域別救急出動件数

事故種別 地域	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
中津地域	1		3	264	8	9	323	20	37	1,439	701	2,805
三光地域				20	2	1	23	1	2	126	25	200
本耶馬溪地域				8	2	4	21			94	7	136
耶馬溪地域				19	3		34	1	3	171	37	268
山国地域				13			20	1	1	95	31	161
その他の地域				1			1					2
計	1	0	3	325	15	14	422	23	43	1,925	801	3,572

救急出動件数



救急搬送人員



月別・時間別出動件数状況

月別

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
1月	1			19			42	1	1	175	81	320
2月				21		2	27	2	2	140	64	258
3月				35	1	1	37	1		158	66	299
4月				23			38	1	2	132	80	276
5月				32	2	2	30	1	3	149	48	267
6月				20	1		30	4	6	152	63	276
7月				24	4	1	34	4	4	181	70	322
8月			3	33	1	2	38	4	7	192	68	348
9月				24	1	1	38	1	7	163	61	296
10月				37	2	3	43	3	3	169	66	326
11月				27		2	35		5	144	63	276
12月				30	3		30	1	3	170	71	308
合計	1	0	3	325	15	14	422	23	43	1,925	801	3,572

時間別

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0～2				6			21	6	2	99	17	151
2～4				5	1		14	2	2	74	10	108
4～6				5			4	4		80	7	100
6～8				28			29	1	4	128	9	199
8～10				46	3	1	52	1	5	183	126	417
10～12				38	5	5	61		6	218	172	505
12～14			1	32	2	3	47	2	3	204	142	436
14～16			1	40	2	1	37	2	7	191	117	398
16～18				55	2	1	52	1	8	174	85	378
18～20	1			40		2	41		3	232	52	371
20～22			1	22		1	37	3	1	187	34	286
22～24				8			27	1	2	155	30	223
合計	1		3	325	15	14	422	23	43	1,925	801	3,572

年齢別搬送人員状況

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児				1						4	17	22
乳幼児				12			26			57	16	111
少年	1			41		5	15	2		41	13	118
成人			2	210	15	7	94	18	22	555	192	1,115
老人			1	85		2	268	1	9	1,122	541	2,029
合計	1		3	349	15	14	403	21	31	1,779	779	3,395

傷病程度別搬送人員状況

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡			1	1			1		7	36	1	47
重症			1	22	5	1	60	1	4	189	220	503
中等症			1	123	5	9	166	5	13	1,017	527	1,866
軽症	1			203	5	4	176	15	7	537	31	979
その他												
合計	1		3	349	15	14	403	21	31	1,779	779	3,395

救急出動件数等

年間救急出動件数【平成23年中】 3,572件

1日の平均出動件数 9.8件

1日の平均搬送人員 9.3人

※ 2時間35分に1人の割合で搬送しています。

曜日別救急出場件数状況

種別 \ 曜日	月	火	水	木	金	土	日	計
火災			1					1
自然災害								0
水難	1				1	1		3
交通事故	51	50	42	46	41	45	50	325
労働災害	1	3	3	1	3	2	2	15
運動競技	2	1	1	1		1	8	14
一般負傷	83	43	53	49	53	70	71	422
加害	2	3	2	2	6	4	4	23
自損行為	6	8	6	3	7	5	8	43
急病	293	258	295	246	246	302	285	1,925
転院	122	137	120	133	118	98	52	780
その他	1	3	3	3	4	2	5	21
計	562	506	526	484	479	530	485	3,572
	15.7%	14.2%	14.7%	13.5%	13.4%	14.8%	13.6%	

医療機関別搬送人員状況

区分	開設別	国立	公立	公的	私的病院	私的診療所	その他の場所 (ヘリポート等)	計(人)
	管内			1,113		1,584		
救急告示	管外	29	23	67	30			149
その他	管内				89	137	12	238
	管外	10	16	3	267	12	3	311
合計		39	1,152	70	1,970	149	15	3,395
	管内	0	1,113	0	1,673	137	12	2,935
	管外	39	39	70	297	12	3	460

覚知別救急出場件数の状況

覚知方法 事故種別	119	加入電話	警察電話	駆け込み	自己覚知	消防無線	その他	計
火 災	0	0	0	0	1	0	0	1
自然災害	0	0	0	0	0	0	0	0
水 難	2	0	1	0	0	0	0	3
交 通	233	3	86	1	2	0	0	325
労働災害	14	1	0	0	0	0	0	15
運動競技	9	5	0	0	0	0	0	14
一般負傷	370	22	11	7	0	1	11	422
加 害	13	0	10	0	0	0	0	23
自損行為	34	3	6	0	0	0	0	43
急 病	1,764	102	23	9	1	1	25	1,925
その他	転院搬送	138	639	0	1	2	0	780
	医師搬送	0	0	0	0	0	0	0
	資機材搬送	0	0	0	0	0	0	0
	その他	7	2	3	0	0	0	21
合計	2,584	777	140	18	6	2	45	3,572

※ 覚知のその他は、Fax、メール、緊急通報システム等

現場到着までの所要時間（覚知から現場到着までに要した時間区分）

時間 種別	3分未満	3～5分	5～9分	10～19分	20分以上	計	現場到着平均所要時間 (分)
急病	16	111	1,019	689	78	1,913	10
交通	8	27	167	108	14	324	9
一般負傷	6	23	226	149	17	421	9
その他	18	170	549	152	9	898	7
現着なし	16						
計	64	331	1,961	1,098	118	3,572	

※ 現着なし：出勤するも現場到着に至らず、途中帰署した事案

医療機関収容までの所要時間

時間 種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計	収容平均所要時間 (分)
急病	3	206	745	729	94	2	1,779	32
交通	1	44	146	141	15	2	349	33
一般負傷	1	46	172	159	25	0	403	32
その他	4	260	227	209	163	1	864	36
計	9	556	1,290	1,238	297	5	3,395	



救急隊員の行った応急処置状況

事故種別 区	急病	交通事故	一般負傷	その他	処置なし	計	割合
搬送人員	1,775	341	396	851	32	3,395	
応急処置項目	止血	2	2	5	1	10	0.3%
	固定	47	162	108	42	359	10.6%
	心電図	903	51	83	284	1,321	38.9%
	心肺蘇生	53	1	2	8	64	1.9%
	酸素吸入	418	29	22	267	736	21.7%
	気道確保	40	1	2	4	47	1.4%
	保温	20	2	4	7	33	1.0%
	被覆	2	26	63	21	112	3.3%
	血圧測定	1,657	316	362	745	3,080	90.7%
	SPO2	1,704	319	380	813	3,216	94.7%
	人工呼吸	42	1	5	9	57	1.7%
	聴診器	191	42	28	60	321	9.5%
	その他	1,396	128	198	491	2,213	65.2%

表紙 【赤壁 合元寺】

場所 中津市寺町 973

通称「赤壁」といわれるこの寺は、天正 15 年(1587 年)、黒田孝高に従って姫路から中津に移り住んだ浄土宗西山派、開山空誉上人が開基したと伝えられています。

その後、天正 17 年(1589 年)、孝高が前領主の城井鎮房を謀略をもちいて中津城内で暗殺した際、その従臣らがこの寺を拠点として奮戦し最後を遂げ、以来、門前の白壁は幾度塗り替えても血痕が絶えないので、ついに赤色に塗り替えられるようになった、というのがこの赤壁の由来となっています。

当時の激戦の様子は、現在も境内の大黒柱に刀の痕が点々と残されています。また、戦死した鎮房の家臣は合葬し寺内の延命地藏菩薩堂に祀りたてられています。

※中津駅より徒歩 6 分